



園児・児童・生徒の手型で翼を表現。中学校のビジュアル・アート部が制作したビッグアート

### いいたてっ子発表会「赤蜻祭」

村内に学校が戻り、認定こども園が開園した昨年度から、園と小中学校が合同で開いている発表会です。避難先で小学校が3校合同の発表会として始めた「いいたてっ子発表会」、飯館中学校が避難の間も継続してきた「赤蜻祭」の名称を引き継いでいます。



実行委員長  
大谷哀斗（ないと）さん  
飯館中学校3年生

これまでの中学校生活で、自分自身で「満足だ」と思えたのは、この文化祭が初めてです。すごく満足です。飯館中のすごいところを、皆さんに見せたい、見せられると思ってやってきました。頑張ってきたことをお見せすることができて、「よくやった」と声をかけていただき、感動しています。この飯館中が、僕は大好きです。



小学校代表であいさつ  
礪山姫夢（ひな）さん  
草野・飯樋・白石小6年生

観てくださった皆さんに、私達の想いは伝わりましたか。私達は、（それぞれの発表に）想いをこめることができました。この発表会を通して生まれた私達（こども園・小学校・中学校）のつながりを、これからも大切にしていきたいと思えます。

### 熱き想いが伝わる 渾身のステージ

「支援してくださった方、ご来場くださった方に、感謝を伝えたい。そして笑顔になっていただきたい」。大谷哀斗実行委員長のこの言葉で幕を開けた発表会。会場は、園児の愛らしい演技で笑顔に包まれ、また、小学生の一人ひとりが輝く発表に感嘆の声をあげ、さらには、一人何役もこなしつつ、それぞれの発表をやり遂げる中学生に、大きな拍手を送りました。そして、想いはしっかり届いていたようです。会場を後にする人達は、異口同音に、「来てよかった。午前中だけの予定だったのに、あまりに素晴らしくて最後まで観た」「涙が何度も流れてきた。感動だね」と言葉を交わしていました。



## いいたてっ子 発表会 「赤蜻祭」

せき しょう さい

出演は  
age 0歳から15歳

10月26日、飯館中学校の体育館で、こども園・小学校・中学校合同の発表会が開かれました。発表は、こども園の0〜2歳児クラスからスタートし、小学生、中学生と続きました。どの発表も発達段階の特性を生かした素晴らしい内容で、成長を重ねる子ども達のパワーと、互いを尊重して学び合う姿に、観客席は感動を深めていました。